

平成27年度情報通信月間企画趣旨

【情報通信月間】

情報通信月間（5月15日～6月15日）は、情報通信の制度改革を機に、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、昭和60年（1985年）に設けられ、今回で31回目を迎えます。

本月間の期間においては、全国各地で情報通信に関する様々な行事を開催しており、それら行事を通して、情報通信の発展が人々の利便性を高め、経済発展に寄与すること等について、国民の皆様のご理解を求めています。

【国家戦略の推進】

高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進するために、政府は平成13年1月、「高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT総合戦略本部）」を設置し、これまで「e-Japan戦略」をはじめとするIT戦略等を策定してきました。

平成26年6月には新たなIT戦略「世界最先端IT国家創造宣言」の改定版が閣議決定されたところです。当該戦略では、ITを経済成長のエンジンとして位置付け、日本経済再生への貢献、震災からの復興といった課題解決の重要なツールとして利活用することを宣言しており、2020年までに、「世界最高水準のIT利活用社会の実現とその成果を国際展開する」ことを目標として掲げられています。

具体的には、目指すべき社会の実現に向けて、オープンデータ・ビッグデータの活用の推進、世界一安全で災害に強い社会の実現、国・地方を通じた行政情報システムの改革等に取り組むこととされています。

【地方活性化と世界最先端ICT環境の実現】

ICTは、全ての社会・経済活動や国民生活に不可欠な基盤であり、新たなイノベーションを創出し、経済成長を牽引するエンジンでもあります。

総務省が昨年8月に公表した「総務省ミッションとアプローチ2015」では、2020年オリンピック東京大会等に向けて、「無料公衆無線LAN環境の整備」、「4K・8Kの利活用」等を行い、「世界最先端ICT環境の実現」推進することや、地域での通信・放送環境の整備等による「ICTによる地域の活性化」を図ることが目標とされています。

また、政府に設置された「まち・ひと・しごと創生本部」の基本方針（平成26年9月決定）を踏まえた大臣指示でも、「社会全体のICT化」を進めることとされています。

【情報通信月間の推進】

本年度の情報通信月間では、以上のような方針の下、

「スマート・ジャパン、拡げよう可能性、創ろう未来」をテーマに、情報通信月間推進協議会（関係59団体により構成）と総務省が一体となって、全国各地で情報通信によるデモンストレーション、各種セミナー及びシンポジウム等の多彩な行事を開催していきます。

あわせて、6月1日（電波の日）を中心に、全国各地で記念式典を開催し、情報通信分野で功労のあった個人や団体に対し、総務大臣、情報通信月間推進協議会会長等から表彰を行うこととしています。

※ 「電波の日・情報通信月間記念中央式典」については、6月1日（月）に開催予定です。

平成27年度情報通信月間テーマ

スマート・ジャパン、広げよう可能性、創ろう未来

* テーマの意味

「社会の様々な分野に利活用できるICTの可能性を広げて、より豊かな日本の未来を創り出す」